

公益社団法人 日本設計工学会東海支部

特別講演

「ここまで来ている風力発電」

日 時：平成 25 年 6 月 7 日(金) 14:00～15:20

会 場：名城大学名駅サテライト多目的室

(名古屋市中村区名駅3-26-8 KDX名古屋駅前 ビル13 階)

電話: 052-551-1666 <http://www.meijo-u.ac.jp/campus/shisetsu/sate.html>

講 師：鳥取大学名誉教授 林 農 氏

日本風力エネルギー学会副会長

名古屋産業科学研究所・上席研究員

元名古屋大学大学院環境学研究科・客員教授

概 要：風力発電は日本には適さないとの批判に長い間耐えながらも風力関係者の地道な努力によって、陸上風力発電は2010年までの国家目標にほぼ達するまでに成長してきた。さらに、陸上での飽和状態の到来、景観や騒音問題の一挙解決に向けて、NEDO事業として着床式洋上風力発電が提案され銚子沖で実証試験に取りかかり始めたところに、3.11の東日本大震災と福島原子力発電所事故が起り事情が一変した。洋上風力発電の開発は着床式をすっ飛ばして浮体式洋上風力発電へと一気に向かうと思えるほど加速して来た。さらに、遠浅な海岸線が少なく急峻な海底地形が多い海域、それに漁業権の問題も加わって、浮体式洋上風力発電への期待はますます膨らんで来ている。

協 賛：計測自動制御学会中部支部，自動車技術会中部支部，精密工学会東海支部，日本機械学会東海支部，日本技術士会中部本部，日本図学会中部支部，日本塑性加工学会東海支部，日本材料学会東海支部，土木学会中部支部

定 員：100名 (定員を超えた場合は日本設計工学会会員・協賛学協会員の順で優先いたします。参加可否のお知らせは開催日間際になる可能性がありますので、ご承知おきください。)

参加費：会員・協賛学協会員 1,000円，会員外 2,000円，学生 無料

申込方法：必ず事前に申し込みをお願いします。氏名，勤務先・所属，所属学協会，連絡先(Tel、Fax)をご記入の上，下記へE-mail でお申し込みください。参加費の振込先が必要な場合には，申込時にご連絡ください。

申込締切：平成 25 年 6 月 4 日(火)

申 込 先：(公社)日本設計工学会東海支部

特別講演担当幹事 高見 征二

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊四丁目5 1 3 番地 3

Tel & Fax: 052-705-3931，携帯: 080-3288-8722

E-mail: takami@mediacat.ne.jp